

かわち



頌春

河内町議会議員一同
河内町役場職員一同

'10年広報かわちバックナンバー

☆ 2010年の広報かわちを再現してみました。☆



編集・発行 河内町役場秘書広聴課
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>
モバイル版アドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html>

河内町モバイルホームページ
QRコード
※QRコードは読みとれない場合もあり
ますのでご了承ください。





河内町議会議長
福智正之

小さくても“キラリ”と光る 大きなまらづくりをめざして



河内町長
野高貴雄

新年明けましておめでとうございます。輝かしい2011年の新春をご家族お揃いで迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のバンクーバーオリンピック、サッカーワールドカップは、世界中を歓喜と興奮に包み多くの人に感動と夢の時間を与え、ノーベル化学賞受賞のニユースはどれだけの日本人を勇気づけた事でしょう。

しかし、国内に目をむけますと一昨年政権交代した民主党政権は、有効な景気対策が打ち出せない状況のまま急速な円高や高い失業率等きびしい経済情勢が続いております。そして尖閣諸

島を始めとする外交問題、環太平洋経済連携協定(TPP)の参加検討など大きな問題が山積しております。

河内町の基幹産業は農業です。農家所得向上を目指して設立しました第3セクター(株)ふるさとかわちでは、「おかずのいらぬかわちのお米」に加えて、茨城県産地品銘柄米「とねのめぐみ」も知名度を上げ、売り上げも順調に伸びております。今後も農家の経営安定、支援のため販路拡大など全面的にバックアップして、地域ぐるみで骨太な農業を目指してまいります。

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい希望に満ちた新しい年をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。また、平素より行政運営にご理解とご協力を頂き、町議会を代表いたしました厚く御礼申し上げます。昨年は、円相場の急激な高騰や一昨年の経済危機の影響により、日本の経済は明るい見通しが立たず、極めて厳しい雇用環境が一層悪化し、デフレは更に深刻な状況など、課題が山積されました。一方では、政権与党の民主党が沖縄米軍基地問題などにより連立を組んだ社民党の離脱の責任をとって、鳩山首相から菅首相に交代したものの、

7月に行われた参議院選挙により野党が過半数を超え、衆参ねじれ国会となり、混乱した政治が続いた年でした。国際問題では、北朝鮮が、韓国の延坪島に攻撃をして、韓国に4名の死者と多数の負傷者を出す暴挙に出て、東アジアに緊張が続く情勢です。わが国においても、尖閣沖で領有を主張する中国漁船が海上保安庁巡視船に衝突して、船長を逮捕したにも関わらず、強硬な中国に配慮し船長を釈放し、弱腰な政府は、今後の状況が危惧されるどころであります。

北朝鮮による日本人拉致問題においても、担当大臣が何度も替わり解決のめども立っておらず、更に6カ国協議の再開など今後も問題解決のため、よりよい対策を行っていただきたいと思っております。一方、4年に1度行われるサッカーワールドカップでは、世界の強豪を相手に熱戦を繰り広げ、決勝トーナメントに進出しました。ほかにノーベル化学賞では、2名の日本人研究者が受賞して、日本中がその功績に歓声が沸くという明るい話題もありました。

河内町では、少子高齢化が年々進行し、65歳以上の人が3割を超える現状で、寿大学を中心に高齢者の活力ある健康作りと、若者の定住を図る必要があります。

護者、地域住民の皆様のご理解とご協力を得られるよう統合の推進を図ってまいります。

また、若草大橋のアクセス道路となる県道取手・東線の生板バイパスの整備につきましては、用地買収が始まり一部工事も着工されております。圏央道につきましては、平成24年度には東関道までの開通が見込まれるなど今後道路網の整備が進展することにより、さらなる町の活性化に結びつくことと思っております。

私も昨年、内閣府行政刷新、規制・制度改革構成員に任命されまして、直接国に地域の現状を建言する機会を得ることになり、第1次産業の農業を守る立場からさまざまな問題を提案させていただきました。

そして、茨城県町村会長としても本県町村はじめ全国の町村が展望ある地域社会を築く礎となるよう誠心誠意努めてまいります。

これからも、町民の皆様の積極的ご意見を反映しながら、元氣・やる気です『小さくても“キラリ”と光る大きな町づくり』を目指し、全力で取り組んでまいります。どうか皆様方のご協力をお願い申し上げますとともに、本年がより良い年でありませうご祈念申し上げます。今年一年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も議会に対して相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。謹んで新年のごあいさつといたします。

景気の面では、夏の記録的な猛暑が米の作柄に影響があったものの米あまりは解消せずに、米価は昨年以上に低迷するという状況で今後の農家の存続も危ぶまれ、農産物の銘柄化を進め販売力ある農業へ転換を強力に進めなければならぬ状況であります。

このような中、将来の河内町が「若者が定住したい町」になることを目指し、子育てを支援する住宅の推進、少人数の学校を適正な規模にして子供本意による教育環境の充実を図るなど多様化する住民のニーズに応えるため、より一層の対策を講じなければなりません。

そのためには、行財政改革の推進を進め、基幹産業の農業が「活性化」して、潤いのある社会を目指していくことが重要課題と考えます。我々議会一同このような状況を乗り越え、皆様と問題意識を共有し課題解決に全力を傾け、町発展のため、町民の代表として、将来の町づくりに誠意努力する所存であります。

今年一年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も議会に対して相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。謹んで新年のごあいさつといたします。